

ニフェジピンL錠 10mg 「KPI」 ニフェジピンL錠 20mg 「KPI」

【この薬は？】

販売名	ニフェジピンL錠 10mg 「KPI」 NIFEDIPINE L Tablets 10mg 「KPI」	ニフェジピンL錠 20mg 「KPI」 NIFEDIPINE L Tablets 20mg 「KPI」
一般名	ニフェジピン Nifedipine	
含有量 (1錠中)	10mg	20mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、カルシウム拮抗剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、末梢の血管を拡張して血圧を低下させます。また、心臓の血管（冠動脈）に働いて、心臓への血流を増加させ、狭心症の発作を予防します。
- ・次の病気の人に処方されます。
 - ・ **本態性高血圧症、腎性高血圧症**
 - ・ **狭心症**
- ・この薬は、体調がよくなったと自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると病気が悪化することがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にニフェジピン L 錠「KPI」に含まれる成分で過敏な反応を経験したことがある人
- ・心原性ショック（急に心臓の働きが低下してショック（血圧が低下し、意識が消失したりする状態）になること）の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・大動脈弁狭窄、僧帽弁狭窄の人、肺高血圧の人
- ・過度に血圧の低い人
- ・血液透析療法中で循環血液量が減少している高血圧の人
- ・腎臓に重篤な障害がある人
- ・肝臓に重篤な障害がある人
- ・うっ血性心不全（特に高度の左室収縮機能障害）の人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人
- ・高齢の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。
通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

[本態性高血圧症、腎性高血圧症の場合]

1 回量	10mg～20mg
飲む回数	1 日 2 回

[狭心症の場合]

1 回量	20mg
飲む回数	1 日 2 回

●どのように飲むか？

コップ 1 杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して 2 回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に、1 回分を飲んでください。ただし、次の飲む時間が近い場合は

1回とばして、次の時間に1回分飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

ひどい血圧低下（からだのだるい、ふらつき、立ちくらみ、力が入らない、めまい、頭が重い、頭の痛み）があらわれることがあります。これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・医師に相談しないでこの薬を減量したり、やめたりしないでください。病気が悪化することがあります。
- ・血圧が下がりすぎてショック症状（冷や汗、めまい、意識がうすれる、血の気が引く）、一時的な意識障害（意識の低下、判断力の低下）や脳梗塞（頭痛、しゃべりにくい、吐き気、嘔吐（おうと）、手足のまひ、しびれ、半身不随）があらわれることがあるので、これらの症状があらわれた場合は、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。
- ・血圧が下がることにより、めまいなどがあらわれることがあるので、高いところでの作業や自動車の運転など危険を伴う機械の操作に注意してください。
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人は医師に相談してください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・グレープフルーツジュースによって、この薬の作用が強くあらわれることがあるので、一緒に飲まないでください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
紅皮症（剥脱性皮膚炎） こうひしょう（はくだつせいひふえん）	ほぼ全身の皮膚が発赤する、発熱をしばしば伴う、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる
無顆粒球症 むかりゅうきゅうしょう	突然の高熱、寒気、喉の痛み
血小板減少 けっしょうばんげんしょう	鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい
ショック ショック	冷汗が出る、めまい、顔面蒼白（そうはく）、手足が冷たくなる、意識の消失
意識障害 いしきしょうがい	意識の低下、意識の消失
肝機能障害 かんきのうしょうがい	疲れやすい、体がだるい、力が入らない、吐き気、食欲不振


黄疸 おうだん	白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、尿の色が濃くなる、体がかゆくなる
------------	------------------------------------

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	体がかゆくなる、疲れやすい、体がだるい、力が入らない、出血が止まりにくい、突然の高熱、寒気、発熱をしばしば伴う、冷汗が出る
頭部	意識の低下、意識の消失、しばしばフケのようなものがはがれ落ちる、めまい
顔面	鼻血、顔面蒼白（そうはく）
眼	白目が黄色くなる
口や喉	喉の痛み、歯ぐきの出血、吐き気
腹部	食欲不振
手・足	手足が冷たくなる
皮膚	あおあざができる、皮膚が黄色くなる、ほぼ全身の皮膚が発赤する
尿	尿の色が濃くなる

【この薬の形は？】

販売名	ニフェジピンL錠 10mg 「KPI」	ニフェジピンL錠 20mg 「KPI」
PTP シート	表面	表面
		
	裏面	裏面
		

形状	フィルム コーティング錠	フィルム コーティング錠
		
直径	6.1mm	7.4mm
厚さ	3.6mm	3.7mm
重さ	105mg	140mg
色	淡赤色	淡赤色
識別コード	KYO 10	KYO 226

【この薬に含まれているのは？】

販売名	ニフェジピンL錠10mg「KPI」	ニフェジピンL錠20mg「KPI」
有効成分	日本薬局方 ニフェジピン	
添加物	乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、エチルセルロース、結晶セルロース、酸化チタン、三二酸化鉄、ステアリン酸ポリオキシル、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、部分アルファール化デンプン、マクロゴール6000、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム	乳糖水和物、ヒドロキシプロピルセルロース、エチルセルロース、クロスカルメロースナトリウム、結晶セルロース、酸化チタン、三二酸化鉄、ステアリン酸、ステアリン酸ポリオキシル、ステアリン酸マグネシウム、ヒプロメロース、部分アルファール化デンプン、マクロゴール6000、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。
製造販売会社 京都薬品工業株式会社

販 売 会 社

アルフレッサ ファーマ株式会社

(<https://www.alfresa-pharma.co.jp/>)

製品情報部 くすり相談室

電話番号：0120-060334

受付時間：9 時～17 時

(土、日、祝日、その他の当社の休業日を除く)